

先生の
働き方改革を
応援します。

Chugakko
Dotoku
2021

わかりやすく、多様な資料が、
授業の準備や振り返りの効率化を実現。

先生方を手厚く サポートします！

教員2年目で、道徳
の授業って、どう組み
立てていけばいいの
か、わからない。



学習指導書
「研究編」
(P.4-7)

教材研究の時間が、
あまり取れなかった。
短時間で授業展開
を確認したい。



学習指導書
「朱書編」
(P.8-9)

生徒の教材理解を
促すコンテンツがあ
れば、考え、議論す
る時間がもっと取れ
るんだけど。



デジタル
教材
(P.12-13)

「道徳の授業って、難しい。」
「時間をかけずに、よい授業準備をしたい。」

先生方の、そんなご要望にお応えします！

- 1 学習指導書「研究編」 4
効率的な教材分析・授業研究をサポート！
- 2 学習指導書「朱書編」 8
授業に必要な情報を精選！授業に必携の1冊！
- 3 板書計画集 10
わかりやすく、整理された板書のために！
- 4 ワークシート 10
編集可能だから、オリジナルが作成できる！
- 5 教師用授業ノート 11
「大きくくりな評価」にも役立つ、オリジナルノート！
- 6 デジタル教材(学習指導書付録DVD-ROM) 12
多彩なコンテンツで、効率よく深い授業を実現！
- 7 サポート資料(年間指導計画資料/別葉作成シート) 14
指導計画作りの労力を軽減！効率化を最大限にサポート！
- 8 学習者用デジタル教科書 15
「読む」から「書く・共有する」へ！教科書の役割が広がる！

「デジタル教材」サンプル版(P.12-13)



1年「26 銀色のシャープペンシル」

3年「9 サグラダ・ファミリア——受け継がれていく思い」

URL: www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c_kyokasho/dotoku/shidosho/

1 学習指導書「研究編」

【授業のねらい／評価の視点】

「研究編」は、指導計画の立案や評価、教材分析などに役立てていただけるように編集しました。

1教材につき、6ページで構成しています。

★ 授業のねらいを捉える

どんな道徳的価値について考えさせ、どんな道徳性を育むのかがわかります。

指導案作成時に
必要な情報が、
全てそろっています！

19 足袋の季節

指導時期 ▶ 11月第2週

朗読
あらすじ

【内容項目】D (22) よりよく生きる喜び

ねらい

つり銭をごまかし、それを償うことができなかった過去のことを振り返った随筆を通して、自分の弱さや醜さを見つめてそれを乗り越えることの大切さについて考えさせ、誠実に生きようとする心情を育てる。

ねらいとする価値について

誰もが心の中に、弱さや醜さがある。してはいけないと知りつつも流されてしまうことや、他人の不利益になると知りつつ自分の利益だけを追求してしまうこと、また、自分を律することができず怠けてしまうことなどがある。

しかし人間は、良心によって、そんな自分の弱さや醜さに苦しみ、それを恥と感ずることができ生き物でもある。誰の心にも善と悪が同居しており、その悪を退けてよりよく生きようとするところに、人間の気高さがある。

弱く、醜い自分に、ただ劣等感を抱くのではなく、それらを認め、正面から向き合い、乗り越えて生きることが、よりよく生きることにつながる。

生徒の実態と目指す生徒像

中学3年生になると、人間が心の内に弱さや醜さをもつと同時に、強さや気高さを併せもっていることを徐々に理解できるようになってくる。しかし、自分に自信がもてず、劣等感にさいなまれ、自分のよさを信じ切れずにいる生徒も多い。ただ、そうした生徒も、自分を向上させたいと願い、よりよい生き方を追い求める心を持っている。

自分の弱さや醜さに気づいたとき、そこから目を背けるのではなく、良心の呵責の苦しみの

中で自分を深く見つめ、自分に向き合い、乗り越えようとする心を育みたい。そして、そうした自分のよさ、人間のよさに気づき、よりよく生きていこうとする心情を育みたい。

指導のポイント

次の点がポイントである。①「足袋」とは何かを紹介し、知識を補ったり、貧しい生活や北海道の冬の厳しさなどの「私」の置かれた状況をできるだけ想像しやすくしたりして、教材理解を促す。足袋は、できれば実物を用意し、生徒の教材への興味・関心を高める。②「私」の心の弱さ、醜さだけでなく、「私」がその弱さにいかに向き合い、乗り越えようとしているかに着目させる。具体的には、私が「あのおばあさんが私にくれた心を、今度は、私が誰かに差しあげなければならない」と思うのはなぜなのか、考えさせるとよい。③主人公の生き方から、自分はどんなことを学んだかを考えさせ、自分の生き方に引きつけて考えさせる。

関連する内容項目

【B (6) 思いやり、感謝】

「私」の行為に気づきつつも、温かな言葉をかけたおばあさんの心と、その心に支えられ、おばあさんに恩返ししたいと願う「私」との間にある人間愛について考えさせる。

★ 生徒像を確かめる

生徒の発達段階を踏まえ、学習を通してどのような姿を目指すのかを示しています。また、指導の際に配慮すべき点を具体的に示しています。

★ 教材の内容をつかむ

教材の内容を端的に捉えることができるよう、教材のあらすじを、文章や図で示しています。

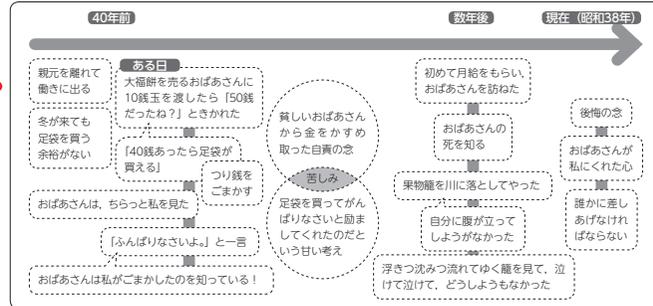
教材について

筆者である中江良夫が、1920年代の北海道小樽での出来事を振り返って書いた随筆である。貧しく苦しい生活の中、足袋を買う金欲しさに、

つり銭をごまかしてしまった「私」の苦悩を描いている。

当時の貨幣価値を現在と比べることは難しいが、月50銭で生活しなければならなかった筆者の貧窮をできるだけ想像しやすくさせたい。

教材の構成



着目すべき「学びの姿」

誰もが弱さや醜さをもっており、それと同時に人間らしいよさや気高さももっていることへの理解を基に……



本時の評価の視点

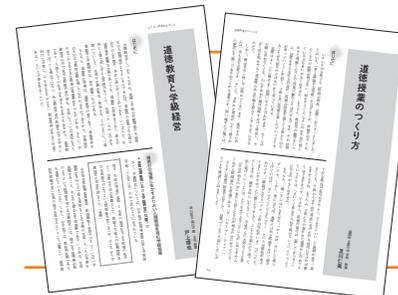
- 主人公「私」の思いやクラスの話し合いで他者の多様な考えにふれ、人が弱さや醜さを乗り越えていこうとする強さをもつことについてさまざまな視点から考えようとしているか。
- 教材や現在の自分自身も弱さや醜さについて振り返ることから、よりよく生きていくことの難しさやそれを乗り越えていこうとする気高さを自分のこととして捉え、考えようとしているか。

57

★ 評価の視点を押さえる

評価のために、生徒のどのような学びの姿に着目すればよいのかを示しています。

また、評価の視点(「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか」「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか」)に即して、本時で見取りたい学びの姿を示しました。



「研究編」には、よりよい授業づくりに必要な内容についての解説も所収されています。

- 道徳授業の作り方 ●道徳教育と学級経営
- 授業づくりに生きる教材分析 ●特別支援教育 など

1 学習指導書「研究編」

【授業の展開例／板書計画】

教科書のてびきに沿った展開例A案と、A案とは異なる展開のB案を用意しました。

★ 授業の展開を考える

教科書のてびきに沿った、授業の展開例(A案)を示しています。「中心的な発問」を明示し、生徒の反応例も掲載することで、授業をイメージしやすくしました。

2つの展開例を用意。
クラスの状況に合わせ、
選択したり、オリジナル
を作成したりできます!

授業の展開例 (A案)

学習活動 (主な発問と予想される生徒の反応)	指導上の留意点
<p>1 ▶ 誰ももっている弱さや醜さについて、自分たちの生活を振り返って考える。</p> <p>○これまで、どんなことで後悔したことがありますか。</p> <p>・怒られるのが嫌で、自分の失敗を隠し通した。</p> <p>・自分勝手な思いから、友人に対して意地悪をしたり、傷つけることを言ってしまった。</p> <p>・自分に厳しくし切れず、部活や勉強でついつい怠けてしまった。</p> <p>めあて 人もつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考えよう。</p>	<p>◆弱さや醜さを持ち、それを後悔している自分を見つめさせる。</p> <p>◆全体の前では発言しづらいことも考えられるため、無理に発表させず、一人一人が問いについて考える時間をもつことができればよい。</p> <p>◆後悔の大きさの違いはあれど、弱さや醜さは誰もがもっているものであることを押さえたうえで、学びのテーマにつなげる。</p>
<p>2 ▶ 「定袋の季節」を読んで考える。</p> <p>①「離を見て、私は泣けて泣けて、どうしようもなかった。」とき、「私」はどんなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>・なぜ、自分ももっと早く謝りに行かなかったのだから、という後悔。</p> <p>・自分には、もう過去の過ちを償う機会がないのだ、感返りする機会もないのだという絶望。</p> <p>・自分に言葉をかけてくれたおばあさんに、感謝も謝罪も伝えられなかった悲しみ。</p> <p>中心的な発問</p> <p>②「私」は、どうして「あのおばあさんが私にくれた心で、今度は、私が誰かに差しあげなければならぬ」と思っているのでしょうか。</p> <p>・おばあさんがなくなったとしても、自分はその出来事を忘れず、よりよく生きていきたい。</p> <p>・自分が受け取ったおばあさんの思いを、誰かに届けることが、あの過ちを償うことになったと思った。</p> <p>・おばあさんに対する後悔は、取り返しがつかないけれど、これからの生き方次第で、その後悔を後悔で終わらせられないようにすることができると思うから。</p> <p>③この物語から、あなたはどんなことを学んだでしょう。</p> <p>・自分の弱さや醜さに気づいたとき、それにどう向き合うかこそが、本当に大切なことだ。</p>	<p>◆付録DVD-ROM収録の朗読を活用してもよい。</p> <p>◆定袋や当時の貨幣価値(本書P.60「参考」を参照)について紹介する。</p> <p>◆「私」の、弱さ、醜さを感じ、それを乗り越えようとする心や、謝罪やお礼が永遠にできなくなった悲しみについて考えさせる。</p> <p>◆おばあさんに謝罪やお礼をすることは、「私」自身にとって、どんな意味があったのだろうか」と補助発問し、自分の弱さ、醜さを乗り越えようとする「私」の心をさらに深く見つめさせてもよい。</p> <p>◆自分の弱さに向き合い、よりよく生きようとする「私」の具体的な思いを見つめさせる。</p> <p>◆まずは、「おばあさんが「私」にくれた心とは何か」を考えさせる。具体的には、「ふんばりなさいよ。」という言葉におばあさんが込めた思いを見つめさせるとよい。</p> <p>◆「ふんばりなさいよ。」という言葉に、支えられてきた「私」になり切って考えるよう促すことで、「私」の思いを深く見つめられる。</p> <p>対話的な学び 各自の考えを交流させることで、さまざまな考え方に気づかせ、考えを深めさせる。</p> <p>◆個々にワークシートに記入させた後、それを基に小グループで意見を出し合わせる。</p> <p>主体的な学び 本時の学習から、自分のよりよい生き方に生かせることは何か、考えさせる。</p> <p>◆導入時に考えた「後悔」について、今、何を思うかと投げかけてもよい。</p>
<p>3 ▶ 「学びの記録」に記入する。</p> <p>○今日の授業の感想を「私の気づき」に記入しましょう。</p>	<p>◆授業で学んだことや感じたことなどを一言記述するように促す。</p>

★ 指導上の留意点

発問の意図や問い返しのヒントなどを簡潔に示しています。特に、「主体的な学び」、「対話的な学び」を意識したい部分がわかるように工夫しました。

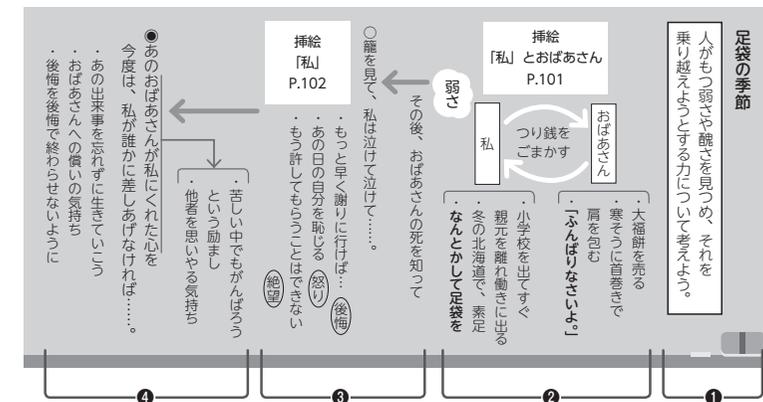
★ 多様な展開のヒントに

ほぼ全ての教材に、B案を掲載。A案とは異なる言語活動や体験的な学習(役割演技等)を取り入れるなど、多様な展開例を用意しました。

★ 板書計画

授業展開と板書の対応がわかるように、下方に区切り目を示すとともに、板書のポイントも示しました。挿絵等のデータは、デジタル教材(学習指導書付録DVD-ROM)に収録。印刷したり投影したりして使用できます。

板書計画



①では、どんな思いからの涙なのか、生徒の意見を多様に取り上げようとして、感情をキーワードとして整理し、発問②を考える際のヒントとなるようにする。

発問①の前に、②のように、おばあさんと「私」の貧しさ、苦しさ、といった登場人物の心情を想像する手がかりを押さえる。「私」と「おばあさん」の台紙を色別に用意して、情報を整理する。

授業の展開例 (B案)

ねらい ▶ つり銭をごまかし、それを償うことができなかった過去のことを振り返った随筆の登場人物「私」と「おばあさん」が再会するという架空の場面を役割演技することを通して、人の弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えていこうとする判断力を育てる。

学習活動 (主な発問と予想される生徒の反応)	指導上の留意点
<p>1 ▶ 人間の弱さ、醜さについて、日常生活を振り返って具体的なイメージをもつ。</p> <p>○人間の弱さ、醜さを感じるの、どんなときですか。</p> <p>・自分勝手な振る舞いを見たとき。</p> <p>・誘惑に負けて、家をしよとしてしまふとき。</p> <p>めあて 人もつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考えよう。</p>	<p>◆人間の弱さ、醜さとは何か、各自がもつイメージを具体的に出し合い共有させる。</p> <p>◆弱さ、醜さは、自分を含めた全ての人間がもつものだろうと押さえる。</p>
<p>2 ▶ 「定袋の季節」を読んで考える。</p> <p>①おばあさんは、どんな気持ちで「ふんばりなさいよ」と「私」に言ったのでしょうか。</p> <p>・貧しい「私」の境遇が、おばあさんにもわかるから、励ましたいと思った。</p> <p>・このお金で、なんとか生きていってほしい。</p> <p>・寒いねえ。がんばって冬を乗り越えようね。私もふんばるから。</p> <p>②「私」はなぜ、おばあさんを訪ねたのでしょうか。</p> <p>・つり銭をごまかしたことを謝りたかったから。</p> <p>・お礼を言いたかったから。</p> <p>・おばあさんに正直に謝ることが、よい生き方をするための第一歩だと思ったから。</p> <p>中心的な発問</p> <p>③もし、生きているおばあさんに「私」が再会したら、「私」はおばあさんに、どんな言葉をかけられるでしょうか。「私」とおばあさん役に分かれて会話してみましょう。</p> <p>・おばあさん、私はおばあさんに謝りたいことがあって、来ましたが、私は、おばあさんからつり銭をごまかしてしまいました……。</p> <p>・ああ、あのときのかい、よく覚えてるよ。私も、もししたら、あなたにすらい思いをさせたかもしれないと思ってたんだ。正直に言ってくれてありがとうね……。</p> <p>④弱さや醜さを見つめ、それを乗り越える」とは、どういうことなのでしょう。</p> <p>・自分の弱さや醜さに目を向けずに、自分に対しても、相手に対しても誠実に生きること。</p>	<p>◆付録DVD-ROM収録の朗読を活用してもよい。</p> <p>◆貧しい「私」を励ますようにおばあさんの気持ちを押さえる。このことは、「おばあさんが「私」にくれた心」の理解へとつながる。</p> <p>◆おばあさんが「私」の「ごまかし」を本当に知っていたかどうか気がなる生徒もいると思うが、確かめられないため、深入りしないようにする。</p> <p>◆「私」の、謝りたい気持ちや感謝の気持ち、よい生き方をしたいという気持ちを考えさせる。</p> <p>◆教科書P.49「自責の念」、「甘い考え」やP.50「ふんばりなさいよ。」と出てきたあの言葉によって支えられてきた」という記述を手がかりに考えさせる。</p> <p>◆「私」の、謝りたい気持ちや感謝の気持ち、よい生き方をしたいという気持ちを考えさせる。</p> <p>◆教科書P.49「自責の念」、「甘い考え」やP.50「ふんばりなさいよ。」と出てきたあの言葉によって支えられてきた」という記述を手がかりに考えさせる。</p> <p>◆発問①、②で考えさせた、おばあさんや「私」の思いを、より実感的に捉えさせる。</p> <p>◆発問③で、おばあさんの気持ちを深く理解できている生徒をおばあさん役に、発問④で、「私」の気持ちを深く理解できている生徒を「私」役に指名する。</p> <p>◆役割演技を生徒には、演じられた場面について気づいたことや感想を発表させる。その後、演者の生徒が演じる中で考えていたことや感じたことを発表させ、相互に交流させる中で理解を深めさせていく。</p> <p>対話的な学び 各自の考えを交流させることで、さまざまな角度から考えを深めさせる。</p> <p>◆教材を通して考えたことを一般化させ、これからの自分の生き方に生かしていく。</p>
<p>3 ▶ 「私の気づき」に記入する。</p> <p>○今日の授業の感想を「私の気づき」に記入しましょう。</p>	<p>◆授業で学んだことや感じたことなどを一言記述するように促す。</p>

2 学習指導書「朱書編」

授業を行う際に必要な内容を精選し、教科書の紙面上に掲載しています。

発問を考えるためのヒントや着眼点は赤字で、配慮したい語句や事柄についての解説などは青字で示しました。

★ めあてとねらい

めあてとともに、ねらいについて簡潔に解説しています。

めあて 人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について、考えよう。
つり銭をごまかし、それを償うことができなかった過去のことを振り返った随筆を通して、自分の弱さや醜さを見つめてそれを乗り越えることの大切さについて考えさせ、誠実に生きようとする心情を育てる。

19 足袋の季節

11月第2週 朗読・あらすじ

よりよく生きる喜び (1) 主として生命や自然 喜ばなものの関わりについて

導入 回想場面への導入

「私」の貧しい生活や、北海道の冬の厳しさについて押さえておく。

場面・あらすじ

導入

学習支援・特別支援教育の視点から

予想される反応

本時の評価の視点

★ 場面・あらすじ

教材文を数場面に分け、場面ごとにあらすじや要点を示しました。生徒に考えさせたい場面を意識して指導することができます。

★ 導入

生徒が自分と結び付けたり、教材に興味をもったりできるように、導入時の発問や呼びかけの例を示しています。

授業前でも授業中でも、教材のねらいや指導上の留意点を、短時間で確認できます！

★ 本時の評価の視点

評価の視点(「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか」「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか」)に即して、本時で見取りたい学びの姿を示しました。

★ 発問

発問には、予想される生徒の反応を示しました。

考えよう

考えよう

発問①

発問②

つなげよう

学習支援・特別支援教育の視点から

予想される反応

本時の評価の視点

103

★ 学習支援・特別支援教育の視点から

指導上の留意点や、特別支援教育の視点から配慮したいことを示しています。

光村図書 特設ウェブサイト 4月中旬公開予定

令和3年度版 中学校 「道徳」教科書のご紹介

教科書編集の基本方針，構成の特色，
現代的な課題への対応，収録教材等につ
いて，教科書紙面とともにご紹介します。

学習指導書のご紹介

令和3年度版中学校「道徳」学習指導書
のご案内。「デジタル教材」サンプル版も
お試しください。

ダウンロード資料

「年間指導計画資料」「道徳教育の全体
計画 別葉」「観点別 内容と特色」等を
ダウンロードすることができます。

特別の教科 道徳

道徳って、なんだろう？

自主、自律、自由と責任

見つけよう、きみがいちばんひかるとき

URL www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c_kyokasho/dotoku/

拡大教科書

弱視の生徒の学習上の負担を軽減する
ために作成したものです。教科書を単純に
拡大するのではなく，より読みやすい文字
の大きさや書体とし，図版や写真につい
てもレイアウトを工夫しています。

19 なごしもん

編纂委員会

郷土の伝統と文化

重要無形文化財にも指定され
ている伝統的な漆器「輪島塗」。
優美さと丈夫さを兼ね備え、工
芸品としてだけでなく、実用品
としても多くの人々に親しまれ
ている。約一年の
月日をかけて作られ、
百以上の工程を手作
業で行っているのが
特徴だ。それぞれの
工程は、何人かの
専門の職人によって
行われている。その
技術が結果として一
つの漆器が完成する。

98-2

98-1



内容解説資料
発行者：小泉 茂
発行所：光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話 03-3493-2111 (代表)
光村図書ウェブサイト：www.mitsumura-tosho.co.jp
印刷：株式会社加藤文明社
デザイン：SOUVENIR DESIGN INC.
イラスト：佐々木一澄
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

